

# 2026衆院選 立候補予定者 政策アンケート (RBC・琉球放送)

山川泰博 1970年6月8日生まれ 豊見城市出身  
1989年 県立豊見城南高校卒業  
1993年 日本文理大学商経学部経済学科卒業  
2002年に豊見城市議会議員初当選  
2009年に那覇市議会議員初当選  
日本維新の会おきなわ維新の会幹事長

## 玉城県政の支持 支持する / 支持しない

中立的な立場で臨みます

子どもの貧困対策に力を入れ基金を拡充したことは評価できますが、  
観光と基地依存からの脱却に向けた自立産業の育成が不十分で規制改革や企業誘致が不十分。県独自の成長ビジョンが抽象的で、計画の実行性が弱い。

## 高市政権の支持 支持する / 支持しない

支持する

高市政権は積極財政や規制改革の方向性が我が党の政策と重なる部分が多いと評価している。食料品の消費税2年間ゼロ、衆議院議員の定数削減、社会保険料の引下げなど我々の政策が政権に反映される政権という評価をしている

## 今回の選挙戦の最大の争点は何ですか。

社会保険料の引下げで現役世代の負担軽減や食料品の高騰が物価に大きく影響しており、飲食料品の消費税を2年間ゼロとすることは、即効性ある対策となる。

## 最も重視する政策について選択肢から1つ選んでください。

- ①経済・雇用 ②米軍基地問題 ③安保政策・自衛隊配備 ④医療・福祉 ⑤教育・子育て ⑥沖縄振興計画 ⑦その他

⑥沖縄振興計画

デジタルを活用した小売店舗の越境ビジネス、新たな沖縄振興策として「公共事業受注地課税」でザル経済からの脱却

## 普天間基地の辺野古移設設計画についての政治姿勢を以下の選択肢から選んでください。

- ①推進 ②容認 ③反対

②容認

米軍普天間飛行場のヘリパットの一部機能を埋め立てが完了している辺野古側へ先行移転し、普天間飛行場早期の危険性除去を提案する

大浦湾側に関しては、軟弱地盤で工費が大幅に増えることや工期は10年以上となるのは宜野湾市民はじめ周辺市町村の我慢の限界を超えており、工事の見直しを含め立ち止まりながら検討する必要がある

## 南西地域の防衛力強化についての政治姿勢を、以下の選択肢から選んでください。

- ①推進 ②容認 ③反対

①推進

自衛隊は国民、県民の生命財産、国土や領海を守るために必要であるし、自分の国は自分で守るための防衛力強化も必要です